

ふくい 社会福祉

2020
5
No.442

Fukui Social Welfare



写真提供：(株)日刊県民福井

こころでつながろう！福井

勝山市の民生委員・児童委員の阿部照伸さんは、日ごろから取り組んでいるボランティア活動の一環として、この度の新型コロナウイルス感染拡大を受け、手作りしたマスクを市役所や市内の福祉施設、県社会福祉協議会等に寄付されています。

これまでに（5月7日時点）、大人用と子ども用、幼児用をあわせて1,000枚製作し、これからもマスク不足が解消されるまで、できる限り作り続けていきたいと話されています。



CONTENTS

2.3P 特集 「第5次ふくい地域福祉プラン21」の概要

報告

4.5P ◆令和2年度 福井県社協事業計画・予算

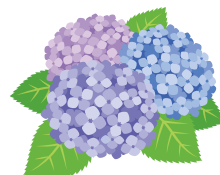
6.7P 社協TOPICS《新型コロナウイルス関連 他》

- ◆生活福祉資金緊急貸付について
- ◆令和2年度社会福祉研修所研修計画の変更
- ◆ふくしの現場で働く人に贈る「福幸レター」募集
- ◆修学資金等各種貸付事業のご案内
- ◆第23回介護支援専門員実務研修受講試験のお知らせ

8P

- ◆「積善会号」があなたのまちへ
～福祉サービス車両購入助成事業～
- ◆寄付・寄贈

別紙 賛助会員名簿



社会福祉法人福井県社会福祉協議会 中期(令和2～6年度)活動計画 「第5次ふくい地域福祉プラン21」の概要

本会では、平成13(2001)年の創設50周年を機に、地域福祉の推進に向けて県民、関係者との協働活動を計画化した地域福祉活動計画「ふくい地域福祉プラン21」を策定し、活動に取り組んできました。

その後、4度の改訂を経て、この度、令和2～6年度を推進期間とする「第5次ふくい地域福祉プラン21」(以下、「第5次プラン」という。)を策定しました。

今日、人口減少や少子高齢化が進み、介護・保育人材不足や老老介護、介護離職等、高齢者介護に関わる課題がクローズアップされています。また、社会的孤立や経済的に困窮する状態にある生活困窮・困難者への支援といった課題も依然として存在していることに加え、8050問題や子どもの貧困といった新たな課題も顕在化しています。さらに、このたびの新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの方が生活不安や生活課題を抱える状況となっています。

これらの課題に対し、国や県においては、制度・分野ごとの「縦割り」対応や「支え手」と「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な

主体による参画のもと、人と人、人と資源が世代や分野を横断してつながり、住民一人ひとりの暮らしと生きがい

が尊重される「地域共生社会」の実現を掲げ、各種の改革に取り組みこととしていきます。

地域の福祉課題と福祉政策を踏まえた第5次プラン推進期間における方向性

福井県社協がめざす姿

【基本理念】

～福井県社協がめざす福祉社会の姿～

『誰もが身近な地域でその人らしく
安心して暮らせる福祉社会の実現』

【組織理念】

～福井県社協がめざす組織像～

『私たちはあなたと語り合いともに考え、
歩みながら笑顔あふれる福井づくりに全力を尽くします』

【組織スローガン】

～理念を共有するための県民の皆さんとの合言葉～

『つないでキラリ☆まち・ひと・えがお。』

第1次プラン(平成14～平成18年度)

第2次プラン(平成19～平成21年度)

第3次プラン(平成22～平成26年度)

第4次プラン(平成27～令和元年度)

第5次プラン(令和2～令和6年度までの5年間)

4つの基本目標

- (1) 社会的孤立を生まない地域づくり
- (2) 地域と福祉を支える担い手づくり
- (3) 制度の狭間を生まない包括的支援体制づくり
- (4) 新たな課題に取り組む組織・ネットワークづくり

4つの基本目標を横断し
総合的にすすめる5つのチャレンジ

- ① 子どもの貧困・貧困の連鎖をなくすための取組み強化
- ② ひきこもり・8050問題への理解促進と支援の輪づくり
- ③ 福祉・介護で働く在日外国人への支援
- ④ 企業や社会福祉法人と連携してすすめる障がい者の社会参加促進
- ⑤ 災害時福祉救援体制の強化

- 1 少子高齢社会、人口減少社会
- 2 世帯構成の変化

家庭介護をめぐる問題
子どもの貧困・貧困の連鎖
ひきこもり、8050問題

- 3 産業を支える人材不足、
人材の多様化

- 4 自然災害の大規模・広域化

- 5 地域支え合い機能の低下

国の政策・制度

地域共生社会の実現

令和2年度を始期とする第5次プランでは、本会としての基本理念および組織理念、組織スローガンは継承しながら、前述した今日的な状況を踏まえ、また、県域における地域福祉推進を担う中核的団体としてこれまでの活動で培ってきた経験やノウハウを活かし、取組みの柱となる4つの基本目標を設定しました。

4つの基本目標

(1) 社会的孤立を生まない地域づくり
今日深刻化している福祉課題の背景には、課題を抱えた世帯や当事者が社会的に孤立していることが影響していると言えます。

無関心をなくすための福祉教育や意識啓発、地域住民が「我が事」として地域の課題に目を向け、主体的に関わることができるようまちづくりに取り組めます。

(2) 地域と福祉を支える担い手づくり
幅広い層に福祉職場の魅力を発信し、福祉を支える人材の発掘や確保、採用に向けた支援を行います。福祉職場の環境改善の支援等により職員の定着につとめます。

また、地域包括支援体制を念頭に、福祉人材の資質向上を図ります。

(3) 制度の狭間を生まない包括的支援体制づくり
多様化・複雑化した福祉ニーズに対応するために、従来の課題解決に向けた支援に加え、つながり続けることを目指す支援のための仕組みづくり、制度の狭間を生まない包括的支援体制に向けたシステムづくりに取り組みます。

(4) 新たな課題に取り組む組織・ネットワークづくり
新たな課題へのチャレンジを継続していくための組織体制づくりやネットワークの創出に取り組みます。

5つのチャレンジと具体的な推進方策

① 子どもの貧困・貧困の連鎖をなくすための取組み強化

- ◆ 住民主体による「みんなの居場所」づくりをすすめます
- ◆ 子どもの居場所の立ち上げ支援や情報発信をします

② ひきこもり・8050問題への理解促進と支援の輪づくり

- ◆ ひきこもりの状態にある方等の社会的理解をすすめます
- ◆ 支援者の育成・資質向上に努めます
- ◆ 関係機関との連携に努めます

③ 福祉・介護で働く在日外国人への支援

- ◆ 介護業務に従事する在日外国人や雇用事業所を支援します
- ◆ 在日外国人に対する就職支援、経済的支援をします

④ 企業や社会福祉法人と連携してすすめる障がい者の社会参加促進

- ◆ 障がいのある方への社会的理解をすすめます
- ◆ 社会福祉法人による障がい者の雇用や社会参加をすすめます
- ◆ 職場体験機会の提供や助成事業を行います

⑤ 災害時福祉救援体制の強化

- ◆ 災害時にも助け合えるまちづくりに取り組みます
- ◆ 災害時の福祉支援体制を整えます

第5次プランにおける基本目標

基本目標(1)
社会的孤立を生まない
地域づくり

基本目標(2)
地域と福祉を支える
担い手づくり

基本目標(3)
制度の狭間を生まない
包括的支援体制づくり

基本目標(4)
新たな課題に取り組む
組織・ネットワークづくり

第5次プランにおける推進方策

[推進方策1]
誰もが居場所と出番をもてる
地域づくりへの支援

[推進方策2]
県民が主役でボランティア活動
に参加できる機会の提供

[推進方策3]
市町社協や多機関との協働による
地域支え合いへの支援

[推進方策4]
地域共生社会の実現に向けた
調査・研究

[推進方策5]
福祉人材確保と定着のための
支援の強化

[推進方策6]
魅力ある福祉の職場づくり
支援

[推進方策7]
福祉現場の課題解決に即した
研修の企画・実施

[推進方策8]
生活困窮者等に対する適切な
相談支援体制の強化

[推進方策9]
地域における権利擁護体制の
推進

[推進方策10]
多機関協働の中核となる市町
社協活動への支援

[推進方策11]
社会福祉法人経営への支援

[推進方策12]
福祉サービスの基盤強化への
支援

[推進方策13]
災害福祉支援体制づくりへの
貢献

[推進方策14]
課題共有・情報発信機能の
強化

[推進方策15]
組織・財政機能の強化

[推進方策16]
事務局体制の強化

第5次プランでは、取組みの方向性として掲げる「基本目標」を達成するため、「推進方策」と、進捗管理の指標として掲げた「達成目標」によって、プランの推進期間中や期間の最終

的な局面での評価を行っていきます。今後、本計画を、地域福祉に関わるすべての方々と共有し、一丸となって事業・実践を行っていきます。

に基づく令和2年度事業がスタート!

福祉プラン21（推進期間：令和2年度～6年度）」のスタートの年
福祉社会の実現」に向け、市町社会福祉協議会、社会福祉施設、
される地域福祉の推進を図るため、前頁の「4つの基本目標」と

iv 社会福祉法人経営への支援

1. 社会的に評価される社会福祉法人の経営基盤の強化

- (1) 社会福祉施設経営指導事業の実施
- (2) 社会福祉法人経営者協議会の運営支援
- (3) 社会福祉法人連携推進協議会の運営支援
- (4) 社会福祉法人による地域における公益的な取り組みの広報啓発

v 福祉サービスの基盤強化への支援

1. 利用者の権利擁護と福祉サービスの質の向上

- (1) 保育部会、種別協議会との連携
- (2) 各種協議会の運営支援
- (3) 福祉サービス第三者評価事業の実施
- (4) 地域密着型サービス外部評価事業の実施
- (5) 情報公表センター、調査機関の運営、調査員養成事業の実施
- (6) 苦情解決体制強化に係る訪問相談、セミナー、調査の実施
- (7) 福祉サービス利用援助事業の運営監視、苦情受付
- (8) 福祉サービス車両購入助成事業の実施

vi 災害福祉支援体制づくりへの貢献

1. 専門性とネットワークを土台にした災害支援活動の強化

- (1) 災害被災地での支援活動
- (2) 各種協定に基づく災害訓練の実施
- (3) 防災マネジャー等研修の実施
- (4) ライオンズクラブとの災害時相互連携協定の管理と災害時の連携
- (5) 県内の災害福祉支援活動・災害ボランティア活動ネットワークへの参画・連携
- (6) 福井県社協BCPの管理
- (7) 福井県社会福祉センター指定管理、災害備蓄品の計画整備
- (8) 防災研修受講等を通じた人材の育成

IV 新たな課題に取り組む組織・ネットワークづくり

i 課題共有・情報発信機能の強化

1. 効果的でインパクトのある情報発信力の獲得

- (1) 福井県社協ホームページの運営管理
- (2) 広報誌「ふくい社会福祉」、情報紙「福悠人」の発行等
- (3) 広報力（ブランディング）セミナー
- (4) SNS等新たな情報収集・発信システムの構築に向けた検討

2. 福祉課題の集約と提言等によるソーシャルアクション機能の発揮

- (1) 福井県社会福祉センター指定管理（総合相談）、交流サロン開設
- (2) 調査研究・企画戦略機能の強化
- (3) ふく福くらしサポート、縁側づくりモデルを踏まえたプログラム開発
- (4) 第67回福井県社会福祉大会の開催

ii 組織・財政機能の強化

1. 会員制度、役員会・評議員会機能の充実

- (1) 会務の運営
- (2) 会員制度の拡充、新会員区分の創設

2. 安定的・持続的な財政基盤の強化

- (1) 経営分析講座（外部講師）等による職場研修の実施
- (2) 会費の増収と新たな財源づくりに向けた多分野多機関との協働
- (3) 基金・積立金の適正管理と持続可能な計画的運用
- (4) ふくいチャリティアート展の実施

iii 事務局体制の強化

1. PDCAサイクルに基づく事業の管理体制の強化

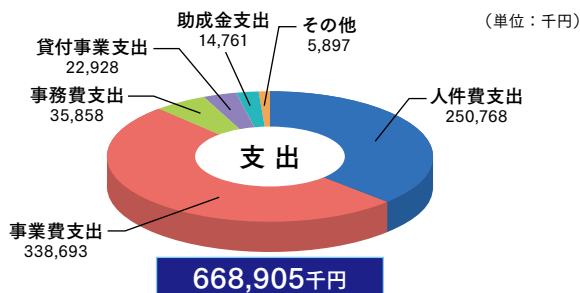
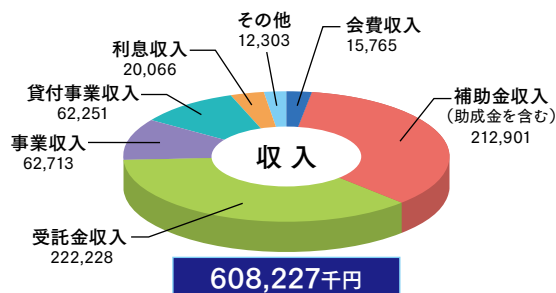
- (1) 第5次ふくい地域福祉プラン21の進行管理
- (2) 職員の専門性と柔軟性を活かす機能的な事務局体制づくり（改編）
- (3) 人事考課システムの導入に向けた情報収集と検討
- (4) 職場研修（キャリアパス体系）の進行管理

2. やりがいと愛着を感じられる職場環境の実現

- (1) 福利厚生企画の拡充、残業時間縮減、副業の基準づくり
- (2) 勤務時間の客観管理、安全衛生徹底、休暇取得管理等の推進
- (3) 職員による職場環境改善提案の推進

令和2年度収支当初予算の概要

※ 事業活動による収支状況（各会計間における繰入・繰出による収支を除く）



令和2年度当初予算における福井県社協の事業活動の収支概要をご理解いただくため、グラフ化したものです。このため、各会計間における繰入・繰出、その他の活動による収支に関する予算は反映させていません。また、事業活動による収支差が、△60,678千円となっていることの説明は次のとおりです。

※ 過年度に原資が一括交付されている「福祉人材育成・ひとり親家庭等自立資金貸与事業」（公益事業）や生活福祉資金関連会計については、前期繰越を財源とするため、当期の資金収支差額はマイナスとなります。社会福祉事業のみの事業活動資金収支差額は、+10,885千円となります。

I 社会的孤立を生まない地域づくり

i 誰もが居場所と出番をもてる地域づくりへの支援

1. 子どもを真ん中においた地域支え合い活動の推進
 - (1) 子ども未来支援事業の実施
- 〔新〕(2) 子どもを中心に地域で取り組む福祉教育推進事業の実施
2. シニア層の地域社会活動への意識向上
 - (1) ふくい健康長寿祭の実施
 - (2) ラジオ放送講座の実施
 - (3) 情報紙「福悠人」の発行
 - (4) 「第33回全国健康福祉祭岐阜大会」への選手派遣
 - (5) アクティブシニア養成支援事業および登録の実施
3. 地域における介護への意識醸成
 - (1) 介護出前講座の実施

ii 県民が主役でボランティア活動に参加できる機会の提供

1. ボランティア活動者の広がり
 - (1) 「つながれボランティアの輪」推進運動の実施
 - (2) 福井県まごころ基金助成事業の実施
 - (3) ボランティアに関わる情報の発信
 - (4) 福井県ボランティアセンター運営委員会の開催
 - (5) 市町社協ボランティアセンター会議の開催
 - (6) 企業や各関係機関との連携

iii 市町社協や多機関との協働による地域支え合いへの支援

1. 世代を超えた幅広い支え合い活動の広がりとして定着
 - (1) 子どもを中心に地域で取り組む福祉教育推進事業の実施 ※再掲
 - (2) 福井県災害ボランティアセンター連絡会との連携
 - (3) 福井県民生委員児童委員協議会の支援および民生委員・児童委員活動との連携
 - (4) 福井県まごころ基金助成事業の実施 ※再掲

iv 地域共生社会の実現に向けた調査・研究

1. 新たな生活課題を明確化、対応策の提案
- 〔新〕(1) 新たな生活課題への対応や「ひきこもり」に対する理解促進

II 地域と福祉を支える担い手づくり

i 福祉人材確保と定着のための支援の強化

1. 福祉ニーズに対応できる多様な人材の確保および定着
 - (1) 福祉人材センター・嶺南福祉人材バンク事業の実施
 - (2) 保育人材センター事業の実施
 - (3) 介護人材確保定着総合推進事業の実施
 - (4) 介護支援専門員実務研修受講試験の実施
 - (5) 介護従事者への研修の実施
 - (6) 介護福祉士等修学資金貸付事業の実施
 - (7) 保育士修学資金等貸付事業の実施
- 〔新〕(8) 外国人介護人材育成支援事業の実施
2. 若年層に対する福祉職の魅力発信とイメージアップ
 - (1) 学校等訪問・介護職場体験事業の実施
 - (2) 教員免許介護等体験事業の実施
- 〔新〕(3) 高校教員向け入門的研修・施設見学会の実施

ii 魅力ある福祉の職場づくり支援

1. 福祉職員の生涯を通じた就業意欲の増進
 - (1) 民間社会福祉施設職員退職共済事業の実施
 - (2) 福利厚生センター(ソウェルクラブ)事業の推進

「第5次ふくい地域福祉プラン21」

令和2年度は、本会の中期活動計画である「第5次ふくい地域」となります。「誰もが身近な地域で その人らしく 安心して暮らせる 福祉関係団体、公的機関等と連携・協働し、県民から期待・信頼 「5つのチャレンジ」に基づき、諸事業を実施していきます。

iii 福祉現場の課題解決に即した研修の企画・実施

1. 質の高い知識・技術を持つ福祉職の育成と定着率の向上
 - (1) 福祉職員専門課題別研修の実施
 - (2) 福祉職員業種別・職種別研修の実施
 - (3) 介護支援専門員養成研修の実施
 - (4) 認知症介護実践者研修の実施
 - (5) 保育士等キャリアアップ研修の実施
 - (6) キャリアパス対応福祉職員生涯研修の実施
 - (7) 定着支援研修の実施
2. 研修管理システムの構築
 - (1) 研修受講申込・管理手続きのシステム化の検討・導入
 - (2) 研修受講履歴管理システムの検討・導入

III 制度の狭間を生まない包括的支援体制づくり

i 生活困窮者等に対する適切な相談支援体制の強化

1. 生活困窮者等の自立支援
 - (1) 生活福祉資金貸付事業の実施
 - (2) 生活困窮者相談支援事業(ふく福くらしサポート事業)の実施
 - (3) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の実施
 - (4) 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業の実施
 - (5) 児童養護施設退所後の生活支援に関する助成
 - (6) 緊急食糧支援事業の実施
2. 包括的支援体制に向けた従事者の資質向上
 - (1) 包括的支援体制の構築をめざすセミナーの開催
 - (2) 包括的な相談支援対応力向上研修の開催
 - (3) 社協ワーカー養成研修の開催
 - (4) 施設・社協ボランティア担当職員研修の開催

ii 地域における権利擁護体制の推進

1. 社協による権利擁護体制の強化
 - (1) 日常生活自立支援事業の実施
 - (2) 市町社協設置の法人後見センター等への支援
2. 成年後見制度の理解促進、普及啓発
 - (1) 成年後見講座の実施
3. 高齢者の生活、権利の擁護
 - (1) 高齢者権利擁護推進事業の実施

iii 多機関協働の中核となる市町社協活動への支援

1. 市町社協事業活動の充実
 - (1) 市町社協会長会の運営支援
 - (2) 市町社協トップセミナーの開催
 - (3) 市町社協事務局長会議の開催
 - (4) 市町社協地域福祉担当者会議の開催
 - (5) 社協ワーカー養成研修の開催 ※再掲
 - (6) 市町社協個別訪問の実施
 - (7) 各種研修会・講座等での啓発、指導・助言等
 - (8) 市町社協の基礎データ、課題等に関する情報の収集・分析
 - (9) 市町社協の各種計画・ビジョンづくり等への技術的支援

生活福祉資金緊急貸付について

各都道府県社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により生活資金でお悩みの方々へ、特例貸付を実施しています。

① 緊急小口資金

(一時的な資金が必要な方 [主に休業された方])

緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に少額の費用の貸付を行います。

対 象 者	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯 ※新型コロナウイルスの影響で収入の減少があれば、休業状態になくても対象となります。
貸 付 上 限 額	学校等の休業、個人事業主等の特別な場合20万円以内 その他の場合10万円以内
据 置 期 間	1年以内
償 還 期 限	2年以内
貸付利子・保証人	無利子・不要

② 総合支援資金

(生活の立て直しが必要な方 [主に失業された方等])

生活再建までの間に必要な生活費用の貸付を行います。

対 象 者	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯 ※新型コロナウイルスの影響で収入の減少があれば、失業状態になくても対象となります。
貸 付 上 限 額	【2人以上】月20万円以内 【単 身】月15万円以内 (貸付期間：原則3月以内)
据 置 期 間	1年以内
償 還 期 限	10年以内
貸付利子・保証人	無利子・不要

【相談・申込先】 住民票と住所地の一致するお住まいの市町社会福祉協議会

※詳細は本会ホームページ (<http://www.f-shakyo.or.jp/>) をご確認ください。

令和2年度 福井県社会福祉研修所 研修の開催中止および延期

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すでにご案内しました下記研修を、中止および延期することといたしました。

下記以外の研修については、今後の状況を踏まえ開催2か月前を目途に本会ホームページに随時、情報を更新しますのでご確認ください。(ホームページ <http://www.f-shakyo.or.jp/>)

(令和2年4月30日現在)

研修事業名			当初予定日	実施状況
キャリアパス対応 福祉職員生涯研修	初任者研修	福井会場	5月	延期
		丹南会場	6月	中止
	中堅職員研修	福井会場	6月	延期
		嶺南会場	6～7月	中止
	管理職員研修		8月	延期
福祉職員専門 課題別研修	ほめ方・叱り方研修		5月26日	延期
	接遇研修	福井コース	5月18日	延期
		丹南コース	6月19日	中止
福祉職員 業種・職種別研修	老人・障害者福祉施設給食担当職員研修	福井コース	6月22日	延期
		丹南コース	6月29日	延期
介護支援専門員 関連研修	再研修・更新研修（未経験者）	5月コース	5～6月	中止
	専門・更新研修（経験者）課程Ⅰ	A・Bコース	5～8月	中止
	専門・更新研修（経験者）課程Ⅱ	A・Bコース	6～9月	中止
認知症介護実践研修	認知症介護実践者研修		5～8月	第1回目 中止
	認知症対応型サービス事業管理者研修		6～7月	
	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修		6～7月	
	認知症対応型サービス事業開設者研修		5～6月	

ふくしの現場で働くあの人へ贈る 「福幸レター」募集中!!

新型コロナウイルス禍で
福祉・介護・保育など、ふくしに携わっているあの人へ
「応援」、「感謝」の想いや願いを届けます。

- 応募先Eメール fukushi@f-shakyo.or.jp
- 詳しくは、県社協ホームページ (<http://www.f-shakyo.or.jp/>)



応募メールアドレスQR

修学資金等各種貸付事業のご案内

保育士・介護福祉士をめざす方や再就職する方、ひとり親家庭、児童養護施設入所者の方の自立生活を応援します! いずれも一定の要件(資格取得、対象業務への従事等)を満たせば、貸付金の全額を返済免除します。

**申込
受付中
です!**

- ✓ 専門学校・短大・大学で資格を取る方に…
介護福祉士・社会福祉士・保育士修学資金

※切を当初より延長しています。7月10日(金)

- ✓ 介護の仕事をしながら資格を目指す方に…
介護福祉士実務者研修受講資金

- ✓ もう一度、介護・保育の仕事にチャレンジする方に…
離職介護人材再就職準備金、保育士就職準備金

- ✓ 高等職業訓練促進給付金を活用し資格を目指す方に…
ひとり親家庭職業訓練資金

- ✓ 児童養護施設や里親等から自立する方の資格取得や生活費等の支援に…
児童養護施設入所者自立支援資金



貸付要件や申請方法など、詳細は本会ホームページ上の募集要項等にてご確認ください。

【問合せ先】 地域福祉課 生活支援グループ TEL.0776-24-4987



第23回(令和2年度)福井県介護支援専門員 実務研修受講試験のお知らせ

●申込受付期間

7月1日(水)～7月14日(火)

※土、日曜日を除く

●試験実施日および会場

10月11日(日) 福井大学文京キャンパス

●試験案内および受験申込書の配布

6月1日(月)～7月14日(火)

各市町介護保険担当課	坂井地区広域連合
各市町社会福祉協議会	県長寿福祉課
各健康福祉センター	県社会福祉センター



【問合せ先】 人材研修課 研修グループ TEL.0776-21-2294

「積善会号」があなたのまちへ

～福祉サービス車両購入助成事業～

県社協では、県内社会福祉法人の福祉サービス車両購入助成事業を実施しており、令和元年度は次の3法人へ助成を行いました。

助成法人名	所在地	助成車両
社会福祉法人 光道園	越前町	トヨタ ヴォクシー
社会福祉法人 竹伸会	福井市	トヨタ ハイエース(幼児バス)
社会福祉法人 南越前町社会福祉協議会	南越前町	スズキ ワゴンR

積善会号

贈 県社協 福井県社会福祉協議会

このマークの車が
県内を走ります!



光道園購入車両

助成法人の声

社会福祉法人 光道園

この度は福祉車両の助成をいただき、誠にありがとうございました。通所の利用者様の送迎等に有意義に使用させていただいています。「新しい車が入った」と利用者様、職員とも、とても喜んでおります。今後たくさんの笑顔や思い出になっていきますように、安全運転で大切に使用させていただきます。

社会福祉法人 竹伸会

この度は福祉サービス車両購入助成金をいただき誠にありがとうございました。子ども達専用の仕様を備えた車両を購入させていただきましたので、毎日の送迎や園外活動にも安全に対応することができました。貴重な助成金をいただいたことに感謝しながら、地域の子育て支援に貢献できるよう大切に使用させていただきます。

社会福祉法人 南越前町社会福祉協議会

この度は助成金をいただき、ありがとうございます。車両が整備されたことにより、地域ふれあいサロンや地域福祉教室など積極的に地域へ出向くことが可能となりました。これからの住民同士の支え合い・助け合い活動はもとより、生活支援サービスの開発など、地域福祉活動の実践の場で活用させていただきます。

この事業は、平成25年11月に解散した「財団法人積善会」から継承した基金を活用し実施しているものです。

寄付 寄贈

心温まる寄付・寄贈に感謝申し上げます。
皆様の善意は有効に活用させていただきます。

♥3月27日(金)

寄付者 福井県電業協会 様
寄付金 30万円
贈呈先 県社会福祉協議会



福井県電業協会様から寄付

♥3月23日(月)、4月6日(月)・27日(月)

贈呈者 阿部照伸 様(勝山市)
手作り布マスク 180枚 ※表紙写真掲載
寄贈先 白梅学園、県総合福祉相談所 他

♥4月10日(金)

贈呈者 株式会社アタゴ 様(福井市)
抗菌布マスク 500枚
寄贈先 市町社会福祉協議会 他



株式会社アタゴ様から寄贈

♥4月23日(木)

贈呈者 小松マテーレ株式会社 様(石川県能美市)
マスクインナー1,000セット(5,000枚)
寄贈先 高齢者通所介護事業所、県・市町社会福祉協議会



小松マテーレ株式会社様から寄付

♥4月24日(金)

贈呈者 匿名
手作り布マスク 60枚
寄贈先 県社会福祉協議会 他



匿名から寄贈の手作り布マスク

賛助会員名簿

お寄せいただきました会費は、一人ひとりの尊厳が守られる共生社会の実現を
目指し、地域福祉を総合的に推進するための活動に活用させていただきます。

(令和2年5月1日現在)

※社名・団体名の五十音順

福井市

株式会社アラモト

アシスト福井株式会社

アルマ千寿

株式会社アスピカ民救サービス

株式会社アタゴ

あおい企画株式会社

社会福祉法人足羽福祉会

株式会社安部書店

株式会社井ザワ画房

株式会社石川コンピュータ・センター

井上商事株式会社

栄月株式会社

S M B C日興証券株式会社 福井支店

大原スポーツ医療保育福祉専門学校

奥武建設工業株式会社

有限会社奥義肢製作所

オフィス上村

河和田屋印刷株式会社

学校法人金井学園

株式会社カワグチ

株式会社カックラ

清川メッキ工業株式会社

木村興業株式会社

銀扇福井株式会社

久我 晶

医療法人健康会 嶋田病院

株式会社ケア・フレンズ

コマツサービスエース株式会社

有限会社康守商会

小林電工株式会社

公益財団法人松原病院

医療法人幸若会 打波外科胃腸科

医療法人厚生会

公益財団法人福井市ふれあい公社

社会福祉法人寿の会

酒井電機株式会社

サカセ化学工業株式会社

株式会社三和商会

株式会社新内

株式会社昭和堂

株式会社ジャストコーポレーション

株式会社JTB 福井支店

スバル食品株式会社

瀬戸 百合子

創文堂印刷株式会社

株式会社ソーワ

株式会社タツセイ

株式会社タビックスジャパン 福井支店

株式会社田中化学研究所

株式会社竹下印刷所

大和電建株式会社

大栄株式会社

中部インテリア株式会社

有限会社辻事務機商会

デュプロ北陸販売株式会社

富永病院

株式会社ナイガイ

株式会社にしぼた

株式会社日刊県民福井

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会 福井地区協会

日本ミール株式会社

株式会社野村塗装店

株式会社ハヤカワ

平田鉄工株式会社

光タクシー有限会社

廣部 すみえ

学校法人福井仁愛学園

藤田製本印刷株式会社

福泉信用組合

株式会社福井銀行

福井信用金庫

一般社団法人福井県建築組合連合会

福井テレビジョン放送株式会社

福井放送株式会社

福井新聞社

福井エフエム放送株式会社

株式会社福井建材社

公益社団法人福井県ビルメンテナンス協会

福井県環境保全協業組合

福井県済生会病院

福井総合病院

有限会社福井新世紀ケアサービス

株式会社福井観光トラベルサービス

福井県生活協同組合連合会

福井日産自動車株式会社

福井ヤクルト販売株式会社

福井A R C

ホテルリバージュアケボノ

株式会社ホクシン

株式会社ホリタ

前田建設工業株式会社 福井営業所

ミカミ看板

水野公文堂

三津井証券株式会社

三谷設備株式会社

三谷不動産株式会社

株式会社ミタス

株式会社ミツノリ

ムラセ看工場

株式会社名響社

メイプルケア有会社

株式会社山崎塗装店

株式会社ユアーズホテルフクイ

陸整自動車株式会社

隆機工業株式会社

レントオール福井株式会社

和田こども園

敦賀市

株式会社かくだ 敦賀ケアセンターかくだ

医療法人積善会 猪原病院

株式会社ミヤゲン

大野市

デイホームひだまりでい

勝山市

勝山交通株式会社

鯖江市

株式会社ウオンツ

合資会社藤田印刷所

医療法人日野会 谷川病院

福井トータルケア株式会社

あわら市

株式会社グランディア芳泉

坂井地区医師会

越前市

株式会社オーデオテクニカフクイ

医療法人笠原病院

株式会社国府印刷

医療法人白百合会 武生記念病院

医療法人林病院

株式会社ふじや食品

大和建設株式会社

坂井市

サンキ株式会社

株式会社サカイ・ミート

株式会社三和商会

社会福祉法人坂井来春会

医療法人社団茜会

医療法人慈風会 宮崎病院

第一織物株式会社

東尋坊ひまわりの丘

福井システムズ株式会社

前田工織株式会社

株式会社ワタナベ印刷

南越前町

医療法人加藤医院

越前町

丹生ケアセンターひまわり荘

ライフガード越前朝日

若狹町

有限会社今井技研アイちゃん堂

介護老人保健施設ゆなみ

株式会社前田産業

県外

サーマエンジニアリング株式会社

白石薬品株式会社

賛助会費は一口5,000円です。民間団体として、
柔軟で効果的な活動を図るため、ぜひご協力をお願いします。

問合せ先 総務企画課 総務企画グループ

TEL.0776-24-2339